

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	公共交通運行事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成13年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	任意の事務
	基本事業	公共交通網の充実	市民協働	企画立案への参画
予算科目コード	01-080401-09 単独	根拠法令・条例等	守谷市地域公共交通活性化協議会設置要綱, 守谷市ノンステップバス導入事業費補助金交付要綱	

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成8年9月に運行開始した福祉循環バスを、平成13年10月からコミュニティバスに形態変更して運行を継続していたが、様々な課題が見受けられるようになってきたため、平成20年6月に、守谷市循環バスのあり方等研究会を設置し、今後のバスのあり方等について検討を行った。その結果、路線バスとコミュニティバスの補完関係を明確にし、連携の強化を目的として、平成20年度に守谷市地域公共交通活性化協議会を設置し、協議会を主体に公共交通の見直しに取り組んでいる。	1 守谷市地域公共交通活性化協議会（事務局：市都市計画課）が、もりやコミュニティバス「モコバス」を運営する（運行は関東鉄道（株）に委託。運行経費から運賃収入を差し引いた額を負担する）。 [運行路線数及び便数] ・いこいの郷・板戸井ルート<A・左回り> 14 便/日 ・いこいの郷・板戸井ルート<A・右回り> 14 便/日 ・南守谷ルート<B・左回り> 16 便/日 ・南守谷ルート<B・右回り> 16 便/日 ・買い物・病院ルート<C・左回り> 4 便/日 ・買い物・病院ルート<C・右回り> 4 便/日 2 市内公共交通の活性化を促進するための検証・検討を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
1 公共交通空白地帯を解消し、市内バス交通の充実と利便性を向上を図る。 2 自動車運転が困難な高齢者・交通弱者のための交通手段を確保する。 3 自家用車から公共交通利用への転換促進による低炭素のまちづくりを行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内公共交通の再編</li> <li>デマンド乗合交通の導入</li> <li>ノンステップバスに対する補助金の交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年7月に策定した、守谷市地域公共交通網形成計画に基づき、平成31年度の市内公共交通再編と、デマンド乗合交通導入のための公共交通活性化協議会の実施。</li> </ul> <p>【協議会】 第1回：H30. 7/24 第2回：H30. 11/2 第3回：H30. 12月上旬予定 第4回：H31. 3月中旬予定</p> <p>【分科会】 第1回：H30. 9/26 第2回：H30. 10/22</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバス補助事業 H31. 1～2月：関東鉄道㈱より申請（予定）</li> <li>デマンド乗合交通及びコミュニティバスの再編 H31. 4月～運行開始</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>守谷市地域公共交通活性化協議会（事務局：都市計画課）で意見を集約し、運営主体である関東鉄道㈱と協議しながら、市民の利便性向上を図っていく。</li> <li>高齢者等が市内の移動手段の一つとしてデマンド乗合交通を利用し、日常の移動における利便性の向上及び、地域の活性化や環境に配慮したまちづくりの促進を図っていく。</li> </ul>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	モコバス再編、デマンド乗合交通導入による経費削減（平成31年度は実証実験年度）

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
守谷市公共交通基礎調査の報告書を基に、公共交通再編に取り組むための「守谷市地域公共交通網形成計画」の協議を図ることができた。	平成30年7月に策定した守谷市地域公共交通網形成計画に基づき、モコバス路線を見直すため、バス事業者（関東鉄道㈱）や地域住民等との協議を行い、平成31年4月から運行するモコバス路線の再編を行った。 新たな交通手段として、デマンド乗合交通を導入の為、市内タクシー事業者（守谷タクシー(有)、関鉄県南タクシー㈱、小川交通(有)）との交渉等を行い平成31年4月からの開始に向け準備を行った。路線バスが運行していない地域へモコバスの運行を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
モコバスの年間利用者数（人）	138,243.00	140,400.00	139,057.00	35,370.00	35,370.00
デマンド乗合交通の年間利用者数	0.00	0.00	0.00	22,320.00	22,320.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	平成30年7月に策定した守谷市地域公共交通網形成計画に基づき、平成31年度は公共交通網の再編を行い、モコバス利用者及びデマンド乗合交通利用者の動向を調査分析し、守谷市の公共交通の編成を段階的に見直す。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今回の再編は、一年間の実証実験とし、その中で集計した利用実態等を基に、効率的で利便性の高い「将来にわたって持続可能な公共交通網の形成」を目指す。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	91,876	94,536	95,104	66,787	64,787
	国・県支出金	0	620	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	91,876	93,916	95,104	66,787	64,787
正職員人工数（時間数）		209.00	1,498.00	3,351.00	0.00	0.00
正職員人件費		857	6,142	13,990	0	0
トータルコスト		92,733	100,678	109,094	66,787	64,787

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	つくばエクスプレス対策事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	昭和61年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	任意的事務
	基本事業	公共交通網の充実	市民協働	その他
予算科目コード	01-080404-01 単独	根拠法令・条例等		

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
つくばエクスプレスの早期開業対策と市民への周知を図るため。	平成28年4月に交通政策審議会答申が出され、つくばエクスプレスの東京駅延伸が盛り込まれました。今後首都圏新都市鉄道㈱、沿線11自治体を含め、事業主体、事業費負担などの検討を進められることから、企画関連での対応が適切になる。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
関係機関（茨城県、沿線11自治体、首都圏新都市鉄道㈱、鉄道建設・運輸施設整備支援機構）と連絡調整しながらつくばエクスプレス事業の促進を図り、運行本数の増便や東京駅延伸などについての活動要望を実施し、利便性向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了					

コストの推移						
	項目	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	162	124	148	142	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	162	124	148	142	0
	正職員人工数（時間数）	147.00	1,498.00	382.00	0.00	0.00
	正職員人件費	603	6,142	1,595	0	0
	トータルコスト	765	6,266	1,743	142	0